恩二報ユル所以デァルト確信スルノデ私、一層奮勵シテ事ニ當ランコトヲ庶幾フテ止マヌノデァル禁シ得ナイ、其レ故今後モ常ニ努力シテ某刊行ヲ繼續シ以ラ學問ノ爲メニ罄スノハ即チ仁使アル此等ノ人々ノ今日マデ續イテ此好結果ガ贏テ得ラレタト私、其人々ニ對シテ深甚ナル鳳謝ノ念ガ油然トシテ領イテ來ルノヲ其利那ニ想に起スノハ此雜誌ヲ 助ケテ下サッタ前記ノ人々デ此等ノ方々ノ深イ同情ガアッタレバコソ 其出版ガ慨人禁ズベカラザルモノガアルト同時ニ能クマー此レマデ發行シ了ヘタト何トナク嬉シイ 感ジが起ッテ來ルガ今比雑誌ノ創刊號カラ前號ノ第七卷第十號マデヲ眼前ニ駢ベテ熟ラ之レヲ跳ムル時私ハ過去ヲ追想シテ韓々感

〇糟 軒 駕 器 (其四十二)

當 軒 钥 比 奈 泰 彦

O 常 性 新果 型 K ~ 種類 Notes on Japanese Coniocarpineae.

が粘菌採集家ナドハ時々遭遇サル、コト、思フ臺灣ニハマダ若干ノ珍種ガアルガカレハ他日ニ讓ル、粉果地衣ハ形體ガ微小デアルノデ通常ハ見逃サレテ居ル未定ナモノガ多カッタ、今本號ノ歐文欄デ十四種ヲ記載シタコレガ本州ニ於テ採集サレタ總數デ此他小笠原島・ルモノ若干アルガ吾國ニハアマリ知ラレテ居ナイ、拙著日本地衣「フローラ」ノ資料デ數種ヲ記述シタガ種名ノ本邦産粉果地衣ハ Nylander ガ四種ヲ舉グテ居ル、其後 Faurie ノ採品デ Hum ャ Zahlbruckner ノ鑑定ニナ

果訂正スペキモノト考へタ、記載及圖、同書ニ詳シイ、主トシテ杉皮ノ破目ニ生ズル、伊豆(三島、大仁)、武蔵Coniocybe gracilenta Ach. (ぬかごけ)トナッテ居ルモノデアルガ其後各地デ完全ナ標本ヲ得テョク調査シタ結のniocybe gracilenta Ach. (ぬかごけ)トナッテ居ルモノデアルガ其後各地デ完全ナ標本ヲ得テョク調査シタ結

(海野)、下野(日光)

- 少不完全デアル外差違ヲ認メナカッタノデ決定シタ、杤木面ニ叢生スル、下野(日光) (歌文開第一圖) 光デ始メテ籧タモノデ子器、分校屈曲シタ比較的ニ長イ柄ガアル、歐洲産ノモノト比較シテ見タガ地太體ガ多2. Chaenotheca brunneola (Ach.) Müll. Arg. えだらわほそピンごけ(枝打細ピン苦) コレハ今度野州日
- 3. Chaenotheca chrysocephala (Turn.) Th. Fr. きんいろほそどごじ(金色細ピン苦) 地衣體が黄緑色の観光音線色
- 4. Calicium Floerkei A. Zahlbr. 「ひんたビンごは、「京文「は書人 C. pusillum 又、 C. pusillum 又、 C. pusillum 又、 C. pusillum ス、 C. pusillum マン・アル、 好木面 ニ 着生スル、下野(=C. parietinum) デッナイカトモ思、レルガ 後者、子器ノ柄ガ少クモ一部分淡色生透明ニナルコトデ 異ルトラナイデ真果デァル、胞子ガ長橢圓形デ通常中央ニー隔 ラ有スルガ往々單室ノモノモ交雑スル、此點、C. subtile ラナイデ真果デァル、胞子ガ長橢圓形デ通常中央ニー隔す有スルガ往々單室ノモノモ交雑スル、比點、C. subtile
- 5. Calicium minutum Körb. くろかめピンごけ 前種「酷似シタ真黑ノ裸田シタ子器ヲ持ヶ居ル、唯胞子
- 6. Calicium trabinellum Pers. かめピンごけ コレバ資料 No. 32. ト同一デ C. curtum Borr. トシタガ其後ョク調ベテ見ルト子殻ノ外側ニ極メテ不明瞭デバアルガ 淡黄白色ノ粉霜ヶ着ケテ 居ルノデ C. curtum トバ異ル、詳シキ點、同書ニ嚢ル
- 8. Calium subquercinum nov. sp. かんじちゅうか 柳菜 No. 33. ボトミニョへ関く C. curtum R C. quercinum

rc

- 光)、土佐(歐文欄第五圖) ケ出シタコトデ歐洲ニモアルガ見逃サレテ居ルノデアル、朽木面ニ生ズル、相模(箱根)、伊豆(天城)、下野(日トニハ先般小生ガ手ニスレタ Löscn ノ地衣標本中 C. quercinum ト同定シテアルモノ、内ニニ、三本種ヲ見附カト大ニ洗フタモノデアルガ子器柄ノ菌絲ガ饫度液デ濃藍色ニ染マルノデ蘭然新シキモノト決シタ、面白イコ
- 物形ノ果頭ヲッケラ居ル、黄綠色ノ粉霜ヲ被ル、樹皮ニ着生スル、下野(日光)(歐文禰第六圖)。 Coniocybe furfuracea Ach. きなこどけ(黄粉苔) 地太體ガ黄綠色粉末狀ヲ呈シ子器・細長キ柄ノ先キニ
- ク大キイ、樹皮 | 着生スル、相撲 (箱根) (歐文欄第七圖) 頭、洋梨子形叉、長圓筒形ラナシ、胞子、紡錘形デ暗褐色、通常四室アリテ中央ノ二室が兩端ノモノヨリ著シ郎秋住藤正己君ガコレラ箱根デ採集シテ見セテ吳レタ、地衣體、殆下缺如シ子器、疎ラニ生ジ黑色デ柄アリ果アル、コレデアル、産地、 Yumoto トアルノデ箱根湯元ノコト、思フガ従來誰モ採集シタ人ガナカッタガ昨年
- レバ我國ニ於ケル最初へ「レコード」ト思フ(歐文關第八圖) アルガ小生、初メテ今年橋本藥學士ノ採集品ヲ見タ、若シ FAURIE ガ採集シテ歐洲ノ學者ニ送ッタコトガナケサ 10−18×8−10μ. 朽木面ニ固着ス、下野(日光戰場原) 本品、粉果地衣類中デノ美麗ナ品デ歐洲ニハ多ク熱シタル晤色ノ胞子塊ヲ吐ク、成熱胞子、橢圓形又、卵形デ暗褐色ヲ呈シ二室、中央ニ核レアルヲ常トス、大形成ス、子殻、完全デ暗褐色ヲ呈シ子囊層、無色、子囊、細キ絲狀體ト交錯シ幼稚ナル胞子、無色デ上部ニ成呈シ稍、厚ク顆粒狀ヲナシ小區劃ニ龜裂シ子器、無柄デ各小區劃ニ一箇宛埋役と雖、健○・五 mm. 迄ノ累點ヲ
- 12. Sphinctrina tubaeformis Mass. 枠槌鋸用般鋸八豑(E展川母大皿)と翻菜 (I) No. 36 ムリ雑記 シルトラブ

ア

地上蘚苔中叉ハ樹皮上ニ着生、

Sphaerophorus compressus Ach. ひらさんごごけ

其 æ 出 ヌ とりはだごけ屬地衣體上ニ寄生、 上總(成東)(歐文欄 第九圖

キ層 形ニシ 裂シテ黑色ノ胞子塊ヲ吐ク、 無果體ハ基部徑 1―1.5mm 高サ 1―2.5cm. 白色又ハ灰白色ヲ呈シ其質甚ダ脆シ、 53 殆ド上端迄均一ニシテ徑 1.0―1.5mm. 僅ニ分枝シ先端ニ球形ノ果頭(子器)ヲ頂ク其徑平均 Sphaerophorus meiophorus (Nyl.) Wain さんごごけ (珊瑚苔) 地衣體 テ徑 5―6μアリ幼稚ナルモノハ無色後淡紫色又ハ淡青色トナル、子囊層ノ外側ニハ青黑色ノ胞子塊 リ此部位ニ 子囊層ハ殆ド アル胞子ハ濃青色ニシテ表面ニ炭質ノ 無色透明ニシテ子囊ハ圓筒狀ヲナシ大サ約 果頭ヲ縦斷スレバ子襲下層ハ略球形ヲナシ中心ハ帯褐色ヲ呈シ周邊ハ濃褐色ニ染 粉末ヲ以テ覆ハル 40-50×5-7μアリ八子ヲ入ル、 ハ珊瑚狀ニ分枝シ殆ド圓 有果體ハ圓柱狀ヲナシ太サ 2mm. ア 胞子ハ り側 狀 略~球 ナリ ジア 面缺

形ナル點ニア 歐洲產 Sphaerophorus globosus (Huds.) Wain ト異ル處ハ髓層ノ菌絲沃度溶液 = 3 IJ 着 色 セ ザ jν ŀ 胞 子 稍 ζ 小

駿河(富士)、下野(日光)其他各地高山

資料

No.

=

詳記

ŋ

=

産ス(歐文欄第十

圖

〇日本變形菌譜

其 五. (前囘「其三(本卷第七號)ツヾキ」)

理學博士

服 部 廣 太

鄎

OArcyria nutans (Bulliard) Greville

子囊體 柄 ク伸張シテ五粍カラ一糎位ニ達スル者モ少クナイ 短 力 ク 朽木上ニ叢生シ、初メハ全長二粍位ニ見エルガ成熟シタ者デハ シテ暗褐色ヲ呈 ス jν • 子囊 ハ細長クテ其膜壁ノ大部分ハ早ク 全觀ハ黃褐色又ハ玉蜀黍色ニ見エ 剝脫 細 毛體 シ柄ニ ガ弾 力性 近カイ部分ダケ ル(第 = 富メ 圖 jν が放 ガ 子囊體 僅 = 力二 著ジ 盃 1 jν